

# 大入り袋で景気つけ。第24回 総会・懇親会



第22号 平成12年(2000)12月22日発行  
 発行所 東京旭川会 〒163-1310  
 東京都新宿区西新宿6-5-1  
 新宿アイランドタワー10F  
 東京美装興業株式会社内  
 TEL. (03) 5322-2725  
 FAX. (03) 5322-2715  
 編集 東京旭川会広報委員会

十月十九日(木)、「東京旭川会」第二十四回「総会・懇親会」が、新宿「京王プラザホテル」錦の間で菅原市長を迎えて開催された。八木会長のシドニーオリンピック報告もあり、賑やかで楽しい、ミレニアム二〇〇〇年を飾るにふさわしい総会・懇親会となった。

当日、幹事たちは午後四時前に集合、準備に当たった。お土産の袋詰め、受付準備、会場の飾り付け、抽選会準備等の定められた仕事を手分けして、五時三十分には完了。会場内の壁面には、旭川の四季折りおり、冬まつり、航空会社のポスターなどが貼られ、賑やかだった。

六時には来賓、会員が続々到着、会場前には人波であふれ始めた。受付横には、会の財政補助のため「寄付」箱が初めて設けられ、多くの方々のご協力をいただいた。

六時三十分、定刻に

総会が開催された。司会は尾崎靖亮幹事。会則により八木祐四郎会長が議長に指名され、議案審議に入った。

まず、「平成十一年度事業報告並びに決算」が桑本事務局長から報告され、引き続き植木宏昌監査役から監査報告がなされ、異議なしの声とともに拍手で確認された。つづいて桑本事務局長より「平成十二年度事業計画・予算」が提案されたが、案件の他に「会の財政が厳しくなり、七十万円の借入金の返済方法を幹事会で検討中」との報告もあり、承認された。六時四十分、総会は終了した。

菅原市長をはじめ来賓の入場とともに懇親会はスタート。加藤桂子幹事が司会を務め、八木会長は「初雪の便りを聞くたびに、故郷・旭川を想い出す」と語ったあと、

「旭川も日本経済と同じ悩みがあると思います、これからは地方と中央とが一体になって、成果を生み出

す努力をしていきましょう」と挨拶。つづいて「皆さん、おぼんでございました」と、懐かしい北海道弁で菅原市長の挨拶が始まった。

「西暦二〇〇〇年は旭川にとっても節目の年。百年前、明治二十三年九月二十日、一五三世帯をもって旭川村、永山村、神居村ができ、いまの行政の基礎ができました。その後の合



併で現在の旭川市に発展してきたわけですが、過去の歴史を踏まえ21世紀を展望して、今年心を一途にしてこの難局を乗り越えようとして、強いメッセージを送る年としました。夏の『日本のまつり』を中心とする五日間の催しに、市始まって以来という一二万人が来旭し、旭川の経済にも刺激を与えました。八木会長をはじめ、東京旭川会の故郷訪問も

ていたたきました。これからも皆さんの期待に応えられるよう頑張っていきたいと思えます。

また、冬の長野につづきシドニーオリンピックでも感動いたしました。その先頭に立たれた八木会長のご労苦を讃えたい」と述べた。

来賓、国会議員の紹介の後、日本オリンピック委員会会長も務める八木会長が登壇。シドニー五輪の日本選手の活躍ぶりを数多くのエピソードを交えて報告し「旭川の子供たちに、誰でも夢

は実現できることを伝えてほしい」と述べた。さらに、高橋尚子選手の感動の金メダルゴールの貴重な写真パネルを菅原市長に贈り、会場から大



参加者全員に配られた。続いて旭川観光大使でもあり、毎週土曜日、朝八時からニュース情報番組『ウェークアップ!』(日本テ

例年楽しみにされている抽選会の司会は、いままでの武田陽子副会長から安井規雄幹事にバトンタッチ。協賛各社から提供された商品の当選番号が呼び上げられるたびに歓声があがり、宴はますます盛り上がった。

しばらく歓談の後、新会員の萩井栄秀、岸沢綾子さんから国立劇場で開かれた秋の会の舞踊公演の紹介があり、縁起もの「當祝」の大入り袋が

吉野務旭川市議会議長の乾杯の音頭とともに、会場はなごやかな雰囲気にも包まれた。

中央に据えられた大テーブルにはオードブルやメインディッシュが盛りだくさん。サイドテーブルには旭川市から提供された蒸しジャガイモやカボチャの山が、あたたかさうな湯気をあげていた。

例年好評の藤原製麺の三人のプロが作る旭川ラーメンにも人だかり。「やっぱり旭川ラーメンが一番うまいわ」と評判は上々。各テーブルで故郷を懐かしみ、ふるさとの味を楽しみ、談笑に花を咲かせた。会場には旭川の「日本のまつり」のイベントを中心とするビデオも放映された。

触れPRしてきましたが、これからは年に五回は言うことを約束します」と宣言すると、会場から大きな拍手があがった。

午後八時二十分、万歳の音頭をとるために山川久明旭川商工会議所会頭が登壇。「郷土旭川は常に元氣印を東京に発信し続けたい」と万歳三唱で締めくくった。



・ほとんどの人に賞品が当たる抽選会

・名刺交換をする会員たち



レビ系)の解説委員としておなじみの岩田公雄氏が登壇した。おもしろい取材話の後「いままでは番組の中で、一年間に三回は旭川市のことに

平成11年度事業報告

(H11.9.1~H12.8.31)

1. 第23回・総会/懇親会  
・平成11年10月16日 京王プラザホテル 出席者123名
2. 会報「ななかまど」第21号発行 平成11年12月22日
3. 親睦ゴルフコンペ 平成12年4月4日
4. 第14回・郷土訪問の旅  
・平成12年8月11日~13日 団長・八木会長 他17名
5. 北海道ふるさと会連合会行事参加

平成11年度決算

(H11.9.1~H12.8.31)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
繰入金	631,670	親睦会費	1,507,250
年会費	575,500	通信費	107,390
懇親会費	1,230,000	会議費	47,604
名簿売上代	16,000	印刷費	309,750
寄付金	400,000	交際費	94,000
雑収入	306	事務費	36,470
		手数料	13,210
		支出計	2,115,674
		繰越金	737,802
合計	2,853,476	合計	2,853,476

繰越金内訳 富士銀行新宿副都心支店 普通預金 737,802  
郵便為替口座 0  
現金 0  
合計 737,802

事務局日誌

(平成11年9月~平成12年8月)

- 平成11年★9月24日・会計監査・第1回幹事会★  
10月13日・総会準備委員会★10月16日・第23回総会懇親会★11月1日・第1回広報委員会★12月10日  
・第2回広報委員会★12月22日・会報21号発行  
平成12年★1月15日・北海道ふるさと会連合会新年交礼会★1月28日・第2回幹事会★2月8日・第1回親睦委員会★3月14日・第2回親睦委員会「郷土訪問の旅」案内発送★3月27日・第1回親睦ゴルフ大会案内発送★4月20日・第1回親睦ゴルフ大会★4月22日・北海道ふるさと会連合会総会★5月23日・有珠山噴火災害義援金抛出★7月7日・第3回幹事会★8月3日・第3回総会企画委員会★8月11~13日・第13回「郷土訪問の旅」★8月16日・第1回副会長委員長会議

総会・懇親会参加者

(敬称略・順不同)

旭川市長・菅原功一、旭川市議会議長・吉野務、同庶務課長補佐・谷口和裕、旭川商工会議所会頭・山川久明、同総務部次長・佐藤和明、旭川市企画部長・中村忠雄、同商工部長・重野健一、同農政部長・結城康俊、同商工部次長・玉井義一、同商工部産業振興課長・池田定博、同企画部秘書課長・今井悟、同秘書課・金みのり、同秘書課・水上明子

▼在京関係  
北海道倶楽部・布施俊幸、北海道ふるさと会連合会会長・北山英博、池田町東京事務所所長代理・佐藤茂子、東京池田会・羽磨和世、サッポロビール(株)営業推進部専任部長・手島

ご来賓

孝雄、同・営業推進部・寺澤豊行、(株)JASカストマーサービス常務取締役営業本部長・猪子園次、同営業本部長付担当部長・吉備正司、藤原製麵(株)東京支店取締役支店長・高本哲司、(株)ダクンケ東京営業所所長代理・佐藤文郎、同・岡沢均

▼国会議員  
衆議院議員・金田英行・佐々木秀典

▼観光大使  
岩田公雄、海原卓(大島英二)、大竹龍雄

▼経済大使  
尾崎成孝、川嶋雅昭、川窪正昭

▼祝電  
鳴村輝郎

関西旭川会会長・豊沢敬一郎、参議院議員・小川勝也

会員

今川守、伊集院實、井上恵三、伊塚清、石野博子、伊東喜久子、伊藤尚子、石井崇、岩井忠、氏家一衛、植木宏昌、梅原音一、海老澤美智子、大野武夫、尾崎靖亮、小澤敏男、大江誠、岡部公司、大玉勝政、大屋道夫、岡本裕昭、大沢テル子、小川礼子、神部泰、加藤桂子、加藤辰雄

河村尚之、岸澤幸夫、岸澤綾子、喜多美佐子、桑本平八、久里忠正、窪田敬昭、久保善昭、黒崎弘、小柳武二、木幡功、鴻上修一、小松仁志、桜井道雄、坂上博一、齊藤弘明、佐藤勝美、白倉伸也、茂川トヨ、曾我部俊文子、宗方裕、宗方由美子、武田陽子、高橋文子、高橋英治、高橋正夫、高橋照美、竹原茂雄、竹田薫高附助、田村稔子、田中国夫、田中幹夫、田原勝司、田村正士、丹保冬司夫、土井磨智子、寺田英子、中村泰敏、中島恵子、那須利雄、中塚晃介、名和公士、西館利子、西村明、西田育子、野作雅章、林秀一、坂東宗光、花輪元治、原公朗、引地康博、広野貴之、日置守一、古川明子、古島誠一、福原博子、藤井章司、堀川和延、堀江秀明、本田真知子、本郷文字、本間敏弘、松田勇三、松島篤、牧田紀子、松原茂喜、宮森信之、三宅一郎、南栄二、御手洗正夫、三輪篤司、峯政俊彦、三浦和子、森陽一、山脇兼治、山本正純、八木祐四郎、吉川昌伸、矢口宏樹、山内典克、安井規雄、吉崎与一、横川正市、横山秀夫、吉住美光、吉岡征雄

ご協力・ご協賛

旭川市長・旭川市議会議長・旭川商工会議所会頭・(株)旭川観光協会会長・(株)道北地域地場産業振興センター・旭川グランドホテル・旭川パレスホテル・ホテルクレセント旭川・全日本空輸(株)東京支店・(株)日本エアシステム東京支店・池田町(東京池田会)・男山(株)・サッポロビール(株)・ニッカウヰスキー(株)・藤原製麵(株)・ホクレン農業協同組合連合会・(株)セーキ・佐賀商店・薬日本堂(株)・(株)本間不動産・(株)旭ダクンケ東京営業所・合同酒精(株)・今野醸造(株)



### サロンで 旭川情報を

旭川市東京事務所

同事務所は旭川および道北圏の情報を発信し、首都圏情報の受信、中央関係機関との連絡調整を行う。あわせて、在京の旭川市出身者の活動拠点として、サロンスペースが設けられ、自由に情報交換や懇談の場として利用できる。千代田区麴町三ー五 ウチダビル2七階 電話326517855



## 二十一世紀に向けて 力強い第一歩を

旭川市長 菅原 功一

皆さまには、日頃から郷土・旭川発展のために格別のご支援・ご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

去る十月十九日の総会・懇親会では、温かいおもてなしや市政についての貴重なご助言などをいただき、ありがとうございます。

特に八木会長には興味深いシドニー・オリンピックのお話を伺い、さらに女子マラソンの金メダリスト高橋尚子選手のゴールの瞬間を撮った貴重な写真をいただき、大変感激いたしました。

旭川では、八月に『ふるさと・旭川2000年記念事業』のメイン行事が全国から一二万人の観客を集めて盛大に行われ、大きな話題となりました。期間中、会場にお越しいただいた八木会長をはじめ、郷土訪問の旅の皆さまにも、市民パワーが炸裂するビッグイベント

を十分堪能されたことと思います。

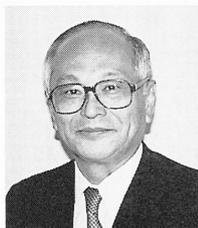
また、今年の夏頃に台湾の航空会社から打診のあったチャーター便の旭川空港乗り入れについても、旭川地域の観光振興等に多大の効果が期待できることから、現在その実現に向けて関係機関と協議中です。待望の国際便が旭川空港に発着する可能性が高まっております。当面のチャーター便就航から定期就航へ、そして他の国との路線開設を進め、将来、国際空港化を目指していきたいと思っております。

旭川市は、本年四月北海道で唯一の中核市に指定され、市民生活に直結する多くの権限が北海道から移譲されました。

2000年記念事業で発揮された市民のエネルギーを結集し、中核市としての役割と責任を果たし、さらに国内外との結びつきを強めて旭川の活力を高めていく。こうして二十一世紀へ向けて、力強い第一歩を踏み出して行こうと決意を新たにしております。

終わりにになりましたが、皆さまには今後とも特段のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、東京旭川会のご健闘・ご活躍を心からお祈り申し上げます。ごあいさついたします。

## 来場された観光大使からひと言



### 散歩気分でおフィスまで歩いて

㈱ジャス ナイスウイング

取締役 業務部長

尾崎 成孝

旭川には二年九月月身赴任を、この三月に東京に戻りました。そして六月に観光大使を仰せつかり、名誉なことと思っています。

在旭時代には宮下通りに住まいを構え、五条九丁目のオフィスには歩いて通いました。格好の散歩コースで、

東京では考えられないことですね。

旭川は海産物や農産物の集積地ですから、食べ物があるととってもおいしい。北海道には何かと縁が深く、十月下旬には地元企業の企画である『北をめぐる酒と肴の会』のために札幌に行きます。時間があれば、旭川にも立ち寄りたいと思っています。



### 北欧に学びたい自然との共存

読売テレビ放送(株)

東京報道部長兼解説委員

岩田 公雄

とを考えていましたか。

A 対局中は相手が誰であろうと勝負に集中し、盤面に没頭して他のことは何も考えておりません。旭川には何歳までいきましたか。

A 旭川には何歳までいきましたか。九歳までいきました。東光九条五丁目生まれ、東栄小学校に二年まで在学。その後、七条八丁目に移り、日章小学校に転校して三年まで在学。二年のとき全国少年少女囲碁大会で優勝し、三年の冬休みにプロを目指して母と兄と共に上京しました。今は祖母も一緒で、旭川には父だけが残っております。

Q お父上は高校の先生ですね。

A 囲碁を始めた動機は何ですか

A 五歳頃から囲碁の好きな父(山下建夫さん・アマチュア五段)に教えられて始めました。郷土の先輩である小林光一前碁聖と対局して勝ったわけですが、対局中はこのようなこ

昔の大成小学校の近くで生まれ六歳までおりました。その後父の転勤で道内各地に行きましたが、やっぱり私の故郷は旭川です。

九九年秋に旭川青年大学に講師として招かれ、その時話しましたが、北の都・旭川は、北欧のように、北国の地域性である自然と緑をもっと生かした街づくりをしていただきたいですね。旅人が来てもホッとするような緑を駅前を中心とした市内にふやして欲しいですね。その意味でも、いま計画中の「北彩都あさひかわ」には期待しています。

旭川は何かを変えるには丁度いい規模の都市です。それには、市民の側の意識向上が必要だと思います。

「この街はいい街」と自信をもって、「もっとよくしていこう」と意識を高めていけば、「永く住んで楽しめる街」になると思います。

A 旭川東高校に三千年位勤めており、数学を教えています。

Q 旭川の好きな場所を教えてください。

A 四条平和通りの中川ビルにあつた囲碁サロンです。

Q 旭川のどんな所を全国の人に知ってもらいたいですか。

A 東京に比べて空気がきれい、町並みも広くゆったりとしたところです。

Q 今後の抱負を聞かせてください。

A 三大棋戦(碁聖・名人・本因坊)のリーグ入りをしたいと思っています。

# 暴発。

## ふるさと・旭川 2000年記念事業



・さすが本場の「阿波踊り(徳島県)」

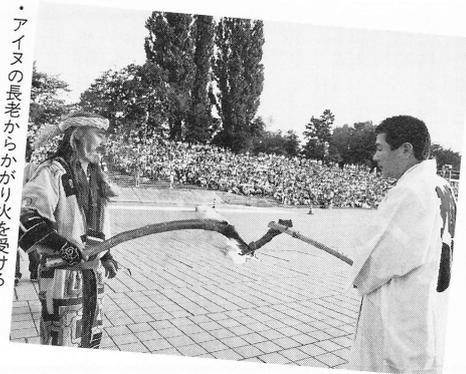
二十世紀最後の年、旭川の夏は熱く燃え上がりました。八月九日から十三日までの五日間、一二万人の観客動員を記録した「ふるさと・旭川2000年記念事業」の中核イベントについて振り返ってみます。

八月九日(水) ふるさと・旭川2000年記念事業オープニングセレモニーと旭川夏まつり開会式が合体して、リベライン旭川パークで開催され、約十万人の人流の中、アイヌの人々の荘厳なカムイノミの儀式で幕を開けました。その後、さまざまなおアトラクションが行われ、最後は満天の夜空を焦がす三〇〇発の花火で、明日から始まる「日本のまつり」の期待が高まりました。

八月十日(木) 大雪アリーナでは玉置宏さんの司会で、ゲストの旭川観光大使、原日出子さんのエスコートで菅原市長が開会のスイッチオン。日本を代表する伝統芸能の競演「日本のまつり」が市内各地で開幕しました。大雪アリーナ周辺では、日本全国から「ふるさと」の味が大集合。

お国自慢の数々の特産品が勢揃いし、売り切れ続出でした。また、地場産業振興センターでは、全国の伝統的工芸品の作り手が集った「匠の技フェスタ」も開幕。「伝統の技」を披露するとともに、工芸品の製作体験もでき大盛況でした。

八月十一日(金) 期間中で唯一雨が降り、関係者を冷や冷やさせましたが、午後には上がりました。大雪アリーナは玉置さんから久米明さんの語りべに交代。その会場を高円宮同妃両殿下がご来訪。また、東京旭川会の一行も来旭し「二十世紀最後のふるさと」の夏」を堪能されました。



・アイヌの長老からかがり火を受ける

### 故郷のいいお酒に酔いしれて

武田 陽子

今年は二十世紀末の年に当たると同時に、四月から旭川市が中核市に移行された記念すべき年でして。

『ふるさと・旭川2000年記念事業』が八月十日〜十三日に開催というので、会員の皆さまにご案内しましたが、諸々の事情で八木会長を団長に十八名と少数の参加となりました。

八月十一日午前八時五十五分、朝から三十度を越す暑い東京を脱出し、爽やかな新装なった旭川空港に到着。旭川市の今井秘書課長はじめ多くの方々のお出迎えの中、ぬくもりのある木椅子の待合室でお茶の接待を受け、ほっと一息つくろぎました。

空港ターミナルの見学をした後、市のマイクロバスで懐かしい風景を見ながら移動。十一時半旭川市主催の歓迎昼食会場『大雪の蔵』に着きました。和風のモダンなレストランです。中村企画部長より歓迎のご挨拶、つづいて八木会長より「日頃、旭川市より多大なご支援をいただき感謝」とお礼の言葉があり、昼食会に移りました。お酒もご飯もおいしかったので、何うと『ほしのゆめ』という銘酒。当然の事ながら、お酒がおいしいわけですね。北海道弁のひびきか耳にやさしく、お腹一杯いただきました。

昼食後、宿泊先のホテルまで送っていただき、各自が十三日三時まで自由行動となりました。夜は午後六時半より例年通り、旭川市東京事務所のOBと当会有志の懇親会が『五十番』にて行われ

れました。先日まで東京事務所副所長であった鈴木毅氏が司会を務め、須貝氏の乾杯の音頭で始まり、会場を方々回ってお疲れ気味の菅原市長も少し遅れて参加され、ご挨拶をされました。

十二日は快晴に恵まれました。暑い日差しはなつかしく、大雪アリーナに出掛け、全国の物産展やショーを見物。全道各地のアイヌ保存会が踊りを披露し、匠の技フェスタでは気軽に製作の体験ができるようになって、若い方が大勢参加されていました。

ました。イベント会期中、ご多忙のところいろいろとお世話をいただきました。ありがとうございました。市職員の皆さまに心より感謝申し上げます。

### 四十年ぶりに旭岳に登る

土井 磨智子

毎年、東京旭川会から「郷土訪問の旅」の案内をいただいたとき、両親のお墓参りの日時が決まります。航空券の取りづらにお盆の時期などは、自分で走り回って手配することもなく、当日空港のロビーに行くだけ。ありがたく、いつも参加をしています。

### まつりに触れ、自然に触れ



今年も参加させていただきましたが、参加者が少なかったのが全員で新しくなった旭川空港ターミナルを案内していただきました。帰るときは、旭川にいられた高円宮ご夫妻が休憩されたVIPルームで、私たちも休んでみました。

三・八街会場のラーメンフェスティバル、最大の目玉「日本のまつりパレード」にも大勢の方が繰り出し、身動きがでないほどの人波。市民舞踊を先頭に、各地の伝統芸能が本場そのままの迫力で観客を圧倒し、すばらしい夏まつりでした。

十三日はホテルから空港まで市の車で送っていただき、VIPルームにて休みました。先日の待合室より一層豪華な設えて、八木会長とともに記念撮影となりました。お見送りをいただき、四時二十分発の飛行機で無事帰京。小雨降る中解散となり

今年2000年記念事業が主目的でしたが、自由時間を割いて四十年ぶりに旭岳に登ってきました。といっても、六月二十六日に新設された一〇〇人乗りのロープウェイに乗って、旭岳山麓駅から姿見駅まで直行し、見晴台の下まで行ったのです。姿見の池まで行くことはできなかったのですが、足腰を鍛えて次回には皆さまと一緒に登りたいと思います。

参加者が少なくなり、「今後は『郷土訪問の旅』は止めます」といわれないように、多くの方の参加を望んでいます。

# この夏、人々のエネルギーが爆

八月十二日(土) 昭通を通行止めにして「日本のまつりパレード」を開催。旭川夏まつり恒例の市民舞踊パレードや大雪連合神輿、青森ねぶた、佐渡おけき、阿波踊り、長崎竜踊りなど著名な伝統芸能が市内を練り歩きました。昭和通は十年前の日本のまつりを上回る大観衆で大混雑。三・六街も久しぶりの大賑わいで、タクシー会社も嬉しい悲鳴でした。八月十三日(日) 前日に引き続きパレードを開催。烈夏七夕まつりを

・見物人を圧倒した「青森ねぶた(青森県)」



はじめ、日本一大きい冠纒の獅子や身の丈5mの弥五郎どんまつりのほか花笠おどりなど、この日も大賑わいです。そして常磐公園でフィナーレ。手筒火花をバックにねぶたや秋田竿燈が登場。観客のテンションも最高潮に達し、拍手喝采、そして乱舞「始まりがあれば終わりがある。祭りには終わったが、この祭りを二十一世紀への新たな出発としよう」と菅原市長が挨拶し閉会。

日本一熱い夏となった旭川は、数々の感動を残し二十世紀最後の夏が終わりました。

## 旭川実業高校サッカー部 初の全国大会へ出場

十月八日、全国高校サッカー選手権北海道予選の決勝戦で、実業高校がみごと優勝。旭川勢としては初めて全国大会に出場することになった。決勝相手・札幌光星高校の猛攻撃を堅実なプレーでかわし、1対0で下した。同校サッカー部の創部以来三十五年目の快挙である。

東京で開催される全国大会は今年度で七十九回。参加校は四十九校を数える。旭川実業高校は本年十二月三十一日に耳成高校(奈良)を相手に初戦を戦う。会場は駒沢陸上競技場で、午後二時十分からプレー開始。ユニフォームはえんじと白である。同部は第一次登録メンバーだけでも四十二名を数え、この中から最終登録メンバー二十五名が選出されるが、富居徹雄監督としては頭の痛いところ。旭実の健闘を祈りたい。



「一月のなまらしばれる夜、旭川の背輪氏宅で、厳肅なうちににもロカルの雰囲気でお見合いが行われました。その模様をお伝えいたします。

(なお、登場人物は実在の人物とは関係ありません)

- 《登場人物》
- ・ 仲人 背輪 矢久造(七十五歳)
  - ・ 男性 茂手内 奴太郎(四十三歳)
  - ・ 女性 雪尾 九礼子(三十九歳)

### 北海道方言辞典 その②

#### ある愛の物語

山脇 兼治 (文・イラストとも)



《仲人と女性が待つ茶の間に、男性が土産のかんぱいを持って「あーこわい」といいながら登場》

仲人「お晩でした。寒くて手もかじかんだしよ。この家もがっさくなつて隙間風入るから、そこつっぺかったんだわ」

男性「うちもかしがつてるし寒いっってお袋がごんぱいばつてるよ。俺もはっちゃきこいて稼いで

るけど家まで手回らなくてさ」

女性「誰かお金さくらんちよしてくれないかしら。ほいとみたいただけ」

仲人「二人でかまどもつて稼げばいいっしよ。よそから金があめつたりしたらわやだよ」

男性「雪尾さんは何が得意なの？」

女性「おこ漬けるのが好きだけど、油断したらすぐすつかくなつて投げちゃうの。放つといたらあめちゃうし」

男性「うわー、いたましいな。お湯にうるかしとけばいいべき」

女性「茂手内さんは何が好きなの？」

男性「あきあじやぎんぎが好きだよ。嫌いな人がいたらばくつてもらうんだわ」

女性「子供は好き？」

男性「子供はめんこいな。俺がガキの頃は、よく軍手はいてよそのグスベリなんかぎつてお袋にじよっぴんかられたけど」

仲人「そのよそのグスベリって、うちのだべや」

男性「そつたらこともう時効だつて言つたしよ。あんときは、よくじよんば持つてばつかけられたけど」

女性笑「茂手内さんって、見合いでもいいふりこかないのね」

男性「ぎいの生まれでたくらんげなんだわ」

仲人「二人ともわかりかし気が合うっしよ。前に見合いた組は、性格があつてあずつたけど

さて、見合いの首尾はいかに？

仲人もなかなかゆるくないですね

# 挑戦の成果

八木 祐四郎

総合的に、各競技団体および選手は、シドニー・オリンピックに対して一生懸命に取り組み、立派に戦ってくれたと思います。例えば「最高で金メダル、最低でも金メダル」の宣言とおり目標を達成した田村亮子選手、野村忠宏選手の史上初の軽量級二連覇、井上康生選手の見事な技そして、残念な結果でしたが篠原信一選手の戦いぶり。いずれも、今大会を象徴する大きな活躍でした。



シドニー市民から歓迎を受ける八木会長 © AFLO SPORT

陸上競技では六十四年ぶりのメダルを、女子マラソンの高橋尚子選手がオリンピック最高記録で取りました。高橋選手に限らず、すべての金メダリストは、それぞれの新しい下地を生み出してくれたと思っています。JOC(日本オリンピック委員会)としては、選手団の活躍は心からの喜びです。女子選手がメダルをいくつも獲得し、活気づきました。日本水泳界も、競泳だけでなく、シンクロナイズドスイミングでも金に近い銀メダルを取ったことは特筆すべきです。また、一〇〇mバタフライの山本貴司選手が大舞台で日本新記録を出して五位に入賞したことは、大いに評価できるものです。レスリングのグレコローマンスタイル

## シドニーオリンピックを省みて

の銀メダルは、かつてのお家芸であったレスリング界の復活への兆しを示しました。二十一世紀に向かつて全体が一步も二歩も前進したことが、JOCとしても夢を持つことができたのではないかと思います。サッカー、野球は「世界」という高いフィールドで戦える競技といえるでしょう。野球では、プロ選手が本気で涙を流していました。黒木和宏選手が「僕はホテルに宿泊したが、選手村でみんなと一緒にやりたかった」と言ったのが印象的でした。ソフトボールの選手たちも監督の檄に選手が本気で応えていました。すばらしいチームの活躍が、日本の子どもたちにどれだけの夢を与えたことか。非常に評価が高いと思います。また、古代オリンピックの原点

の競技であるボートの軽量級ダブルスカルで初の決勝に進出し、六位に入ったことも印象的でした。大会前には好成績だったハンマー投げの室伏広治選手など、惜しい試合もたくさんありましたが、日本が世界を相手に十分戦い得ることが、よく分かりました。残された課題は多くありますが、選手たちには「本当によくやった」と言いたいと思います。

## クラフト工芸

「木Glass(きぐらす)」  
凍てつく旭川の風土が生んだクラフト工芸が、木とガラスを原材料とした器・「木Glass(きぐらす)」。軒先のつららを思い起こさせるガラスの和食器、木のぐい呑みなど、種類も多彩作家・菅井淳介氏は旭川在住である。浮工房を主宰し、その工房で作られた作品が東京でも購入できる。常時扱っている店は下記の通り。

「器楽」港区立揚場一六〇一 アイランドモール五階 電話 三五九九六七三三  
「いろどりや」世田谷区南烏山六一五三三〇一 電話 五三三三五五四四

## 美容院 テーコ

店主の堀内貞子さんは旭川の出身。昭和三十三年江古田で開店し、三店にまでなったが、現在は下記店のみ。長年、美容業界で働いてきたが、若い人を養成する気力が失われたためという。従業員は七名。  
練馬区東大泉三四二二  
電話 三九三三三二二

## 北海道元氣市場

道産品を産地直送で購入できるホームページ「北海道元氣市場」の代表は西神楽在住の写真家・伊東剛氏。たらこ、ウニの一夜漬けなどの水産加工品、手作りハム・ソーセージ、函館きょうざ、乳製品など北海道各地の「うまいもの」が四十二  
メールアドレス  
<http://www.idxst.co.jp/genki/>



## 店舗参加。夏には旬の野菜、果物も加わる。

### 江丹別そばの使用店

同店は明治十五年に敷のれんの直系分店となり、現在で六代目になる。店内には「新そば・純正そば粉・江丹別」のポスト。そばはコシが強く、新そばの香りも立つてのどしがよい。もりそばは四〇〇円。全八品・五〇〇円の「そばづくしコース」(要予約)も人気がある。

中央区日本橋三二一五七  
電話 三三四二二二四〇  
営業 平日十一時〜二十時半  
土曜十一時〜十四時半  
定休 日・祭日  
・敷伊豆総本店六代目

## なつかしい味と顔

旭川市は夏日の大きな温度差が、ソバ栽培に適している。がここ数年江丹別産のソバがやがて、首都圏でも老舗以上で使われている。

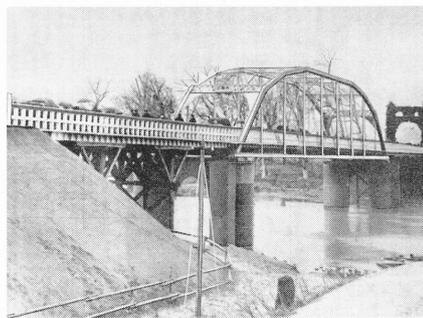


## 上野やぶそば

下町の情緒を残すこの店では、日本酒を呑みながら、そばをたぐる年配客も多い。店内には「北海道江丹別蕎麦使用店」の木札が掛かり、新そばの案内も見える。手打ちの細い麺はコシがあり、濃いめのツユは江戸っ子好み。今の季節なら、かき南はん、あらそばは各一六〇〇円、鴨せいろ一七〇〇円がおすすぬ。

台東区上野六九一六  
電話 三八三二四七七八  
営業 十一時半〜二十時半  
定休 水曜

店名	住所	電話	店名	住所	電話	店名	住所	電話
長寿庵	中央区銀座1-21-15	3561-2647	きよし	府中市宮町1-22-1	0423-61-9523	滝の家	板橋区蓮根2-27-11	5970-8272
長寿庵	中央区日本橋茅場町1-8	3666-1971	ほていや	世田谷区太子堂2-32-3	3413-5701	武蔵境仲屋	武蔵野市関前5-4-13	0422-37-0222
滝乃家	荒川区東尾久4-27-7	3893-8805	清川	東大和市高本3-413	0425-62-2604	松庵	清瀬市松山1-4-2	0424-91-4483
宝盛庵	江東区門前仲町1-8-9	3630-2915	香町 長寿庵	文京区向丘2-29-5	3811-4813	笹家	あきる野市野辺464	0425-58-5352
北の屋	江戸川区興宮町10-1	3651-4704	蕎麦善	新宿区四谷1-22-12	3355-8576	花月庵	立川市高松町2-8-24	0425-22-4067
朝日屋	新宿区四谷4-28	3354-2769	一徳	小金井市本町5-19-3	0423-81-0633	元本郷 中清	八王子市元本郷3-17-15	0426-27-6336
つる家	杉並区西荻南3-7-3	3333-0245	海老民本店	目黒区下目黒3-11-10	3711-6621	やざわ	江戸川区松島1-41-23	3651-5451
美たか庵	文京区千石3-1-1	3941-0916	朝日屋	目黒区碑文谷2-19-16	3714-9287	長寿庵 西小岩	目黒区原町1-6-12	3715-5514
大橋屋	豊島区巣鴨3-34-3	3918-3434	ときわ	千代田区神田駿河台1-8-10	3291-8067	清野	品川区荏原2-17-19	3781-6966
増田屋	立川市錦町3-5-15	0425-24-5396	柳家	江東区扇橋1-8-3	3645-4141	上馬 大菊	世田谷区上馬4-39-9	3414-5001
玉川屋	青梅市御岳本町360	0428-78-8345	新小岩上野そば	葛飾区新小岩1-51-1	3674-7820	本郷 稲穂家	文京区本郷4-17-8	3811-1356
敷矢車	稲城市矢野口4002-1	0423-77-1452	兵隊家	大田区田園調布3-14-10	3721-4406	北砂 前野屋	江東区北砂4-2-8	3644-7439
みのち庵	港区六本木3-11-8	3401-8235	愛知家	大田区大森北1-26-2	3761-3710	田端新町 滝の家	北区田端新町1-8-1	3893-3855
喜久家	江東区住吉2-11-1	3631-5905	中屋	新宿区四谷4-13	3351-3733	蕎麦酒房てらさわ	台東区寿1-2-10	3844-1704
はせ川	江東区住吉2-7-12	3631-4706	松扇	中野区上高田3-19-1	5343-3483			



・明治37年頃の旧旭橋

郷里を離れて四十幾星霜……。その旭川を代表する風景の一つとして、いまだに目に浮かぶのは何といても「旭橋」である。ガス燈風の照明灯に照らし出された優雅な夜景、また石狩川の川下から巨大なアーチを通して遙か遠方に望む北海道の屋根・大雪山と十勝連峰の遠景は、決して忘れられない。かつては、この橋の上から石狩川を銀輪を躍らし湖上する鮭の群れを目にするのができたという。

その昔から、旭川は「川と橋のマチ」と呼ばれた。石狩川に牛朱別川、忠別川、そして美瑛川と大小百六十もの河川が流れ、橋は何と七百三十本を数えるという。市民を対象にしたある調査によると、一番好きな橋はの間に五五%もの市民が旭橋を挙げた。人々に愛され

## 旭川・橋ものがたり

### 『旭橋』編



・昭和30年代の旭橋全景

橋に建て替えられ「鷹巣橋」(明治二十七年)と命名されたが、四年後に石狩川大洪水で流失、再度架橋された。明治三十四年に旧陸軍第七師団の設置が決定、頑強な永久橋架設の要望で三年後の明治三十七年(一九〇四)五月に完成したのが初代の旭橋。師団進出で当時六千七百人だった人口がいつきに一万三千人へと倍増した。同時に、旭川の中心部にかかる橋なのに隣村の名では面白くないと名前が「旭橋」に変更され、軍都・旭川の黎明期の橋の誕生となった。

親しまれてきたまさにシンボリックな存在なのだ。今の位置に最初の橋が架けられたのは百八年前に遡る明治二十五年(一八九二)。旭川村開村から二年後のこと。橋の長さは約九〇m、幅一・八mの仮橋。川の多い大地への入植者が年ごとに増え、人々にとって治水と橋の建設がまずもって大切だったことがうかがわれる。しかし、馬など重量物に耐えられず、やがて木

歴史をひもとくまでもなく、橋ほどその土地に住む人々の生活に密着し、利用され、親しまれてきたものはない。寺社・仏閣の比ではないのである。市民の往環に賑わう橋、夕暮れに涼む橋、そして白銀の世界に浮き立つ橋、四季こもごもの情感が込められてきた。当初は開拓地の生活圏形成のために架橋されたものが、やがて軍都の要としての橋。そして今、平和な旭川のシンボルへ、時代の移り変わりとともに、旭橋の役割も変わってきた。その旭橋を路面のチンチン電車に揺られ、書店「富貴堂」に通った昔が懐かされる。

この橋も、やがて交通量の増加による木造部分の老朽化や軍事的要請、電車を通す計画の浮上などで、昭和七年(一九三二)に現在の旭橋に架け替えられた。橋長二百二十五m、幅一五・八mと当時としては道内で最大規模の耐えられる構造。戦前には、アーチの両端に旭日章と軍人勅諭綱領を書いた大きな額がかかっていたのを記憶している人も少なくない。まさに軍都・旭川の象徴的存在だったのである。

・現在の旭橋



### ◆旭川の川と橋

番号	橋名	位置	番号	橋名	位置
①	★旭	西	⑪	橋境	永
②	新旭		⑫	豊功	旭
③	金	星	⑬	旭	大
④	★緑		⑭	★忠	別
⑤	★永	隆	⑮	★大	樂
⑥	★中	央	⑯	★大	東
⑦	★日	の	⑰	★大	東
⑧	★日	の	⑱	★大	東
⑨	★新	成	⑲	★大	東
⑩	★新	旭	⑳	★大	東

★：彫刻のある橋



### 三浦綾子文学碑の建立

「氷点」「塩狩峠」など、数々のベストセラーで知られる作家の故三浦綾子さんを讃える「文学碑」が、旭川市の三浦綾子記念文学館前に建立された。三浦さんの一周忌に当たる平成十二年十月十二日、三浦さんを陰から支えた夫の光世さん(七六)をはじめ、多くの三浦文学ファンが見守る中で除幕式が行われた。郷土旭川にまた名所が一つ。碑は永久に時を刻む。文学碑は高さ約二m、幅一・二mで大理石製。三浦さんのデビュー作「氷点」の冒頭部分を直筆原稿から写したものと、光世さんの寄せたメッセージが彫られている。三浦さんは雑貨屋のおかみさんだった四十二歳のとき、朝日新聞社の新聞小説「千万懸賞」に長編「氷点」で当選して文学界デビュー。以来、



・文学碑の前で(左・菅原旭川市長、右・三浦光世氏)

三十五年間にわたって病弱の身で野心的で、読みごたえのある小説を書き続け、昨年十月に亡くなった。「三浦さんの功績を後世に伝えたい」と市が音頭をとり、三浦綾子記念文化財団などが中心となって碑建立を進めてきた。

# 道縦貫道

## 旭川鷹栖―和寒開通

平成七年から工事が進められてきた道央自動車道の旭川鷹栖IC―和寒IC間二・九・三km(暫定一車線)が十月四日開通した。新しくできた旭川北IC(東鷹栖)や和寒町ではそれぞれ開通式などが行われ、沿線自治体関係者をはじめ、地域住民が道央と道北を結ぶ大動脈の延長を祝った。

同区間では、沿線に五万本の植樹をし、また十三カ所ある橋と道路の段差をなくすノージョイント化によりスムーズで安全な走行を確保している。さらに比布大雪パーキングエリアでは大雪山系の山々を一望することができるなど、景観、眺望への配慮がなされている。

開通により、一般国道ではこれまで約一時間四十分かかっていた旭川―名寄間が約十五分短縮されること



になる。旭川以北の道北圏と道央圏との間の経済、文化の交流促進、観光産業の活性化、さらには貨物自動車による本州向けの出荷拡大による産業基盤の確立と競争力の強化などが期待される。なお、旭川鷹栖―和寒間の普通車の料金は九五〇円。

# 旭川だより

## 「旭川冬まつり」と「NOKIAスノーボードFISワールドカップ2001旭川大会」

今回で四十二回を数える旭川冬まつりが来年二月八日―十二日までの期間、常磐公園と石狩川旭橋河畔を会場に開催される。世界最大の大雪像「ASHIKAWAドリムシャトー21」をメインに、滑り台を組み込んだサプの大雪像、さらには市民参加の中・小雪像を配置し、スケールの大きさと市民参加の冬まつりを演出する。期間中は、「氷彫刻世界大会」「あさひかわ雪あかり2001」なども同時開催される。

また、平成十一年以来、旭川では二度目の開催となるスノーボードのワールドカップが、二十カ国約一六〇人の選手の参加を得て開催される。

世界トップクラスの選手達の熱戦をぜひご観戦ください。

とき 二月二十三日―二十五日  
ところ サンプアレセントパーク



## 道立寒地住宅都市研究所が着工

旭川は平成三年、通産省等から頭脳立地法に基づく地域指定を受け、情報・デザイン・自然科学研究所等のソフト産業の集積と、そのサポートによる地域産業の高度化を目指す頭脳立地構想を展開している。

同構想の一環として市の郊外に造成されたソフト産業の集積団地「旭川リサーチパーク」内に、平成十四年度の開設を目指して、道立寒地住宅都市研究所の建設が進められている。同研究所は敷地面積三・四ha、延床面積八〇〇㎡、総工費約五十億円、スタッフ約五十名を擁する。耐震・耐火・防音・風雪害対策・環境心理体感等、安全で快適な北国の住宅・住環境を総合的に実験、研究する国内有数の研究所である。

その完成により地域住宅産業の振興はもとより、地球環境安全対策の推進等に貢献することが期待されている。また、開かれた研究機関として企業の育成・支援やシンクタンク機能の強化による行政支援も重要な役割とされている。

## 旭川空港が全面オープン

旭川空港ターミナルビルの到着系ビルの改築工事が完了し、五月から全面使用開始された(出発系ビルは平成十一年十二月に使用開始)。改築なった到着系ビルは、一階に到着ロビー、二階に有料待合室・VIP室・管理施設等、三階に出発系ビルと一体となる展望ロビーがあり、利用者の利便性と快適性、さらに高齢者、

身体障害者等へ配慮した建物となっている。空港ビルの展望ロビーから望む大雪山系から十勝連峰の雄大な眺望は、旭川空港を訪れる人々の心に潤いと安らぎを与えてくれている。



## 市立旭川病院の新外来棟が完成

改築工事が進められてきた市立旭川病院の外來棟が、本年九月に完成し診療が開始された(入院棟は、平成九年三月に完成)。新外来棟は、地上五階、一部地下一階で、外來の各診療科はすべて二階にあり、通院者の利便性に配慮されている。

総合待合室は吹き抜けで、また、緑のある中庭を設けるなど、ゆとりと安らぎの場となっている。一階から二階には車椅子でも利用できるエスカレーターが設置され、四階にはレストランや喫茶室もある。ロビーの壁面には、旭川在住の画家・田下三紀子氏の陶版画が飾られ、待合ロビーの椅子、ソファ等旭川家具で、くつろぎと癒しの空間となっている。

## 中核市スタート 「旭川市保健所」開設

本年四月一日、旭川市は北海道で唯一の中核市の指定を受け、新たな一歩を踏み出した。これにより、福祉・衛生・環境・都市計画等の分野でさまざまな権限が北海道から移譲されている。

それに伴い、旭川市保健所が、市第三庁舎(永山地区へ移転した上川支庁・道立旭川保健所旧庁舎)及び一部は市第二庁舎に開設され、業務を開始した。

旭川市保健所には、医師等の専門職員も配置され、衛生的で健康的な市民生活の確保のため、より充実したサービスの提供を目指している。

## 編集後記

年が明けると、いよいよ二十一世紀。同時に、昭和五十二年から始まった東京旭川会は、二十五回目の節目の年を迎えることになりました。振り返れば、数多くの先輩の方々の力により維持、発展し、現在に至りました。会員の方々がいつまでも元気で参加できるのが何よりですが、若い世代の参加も会の発展のためには大切です。若い力が加わり、全体の交流が深まって楽しい会になるようにと願っています。(引地)